

統一会派結成に向けた取り組み経過について

2017/12

			会派協議・立憲民主党	会派協議・希望の党
26	火	両院総会・全国幹事会・自治体議員団等役員合同会議 * 統一会派結成申入れ確認	幹事長・国対委員長会談 * 3 党統一会派結成の申入れ① 福山幹事長「希望とは統一会派は組めない」	幹事長・国対委員長会談 * 3 党統一会派結成の申入れ② 古川幹事長「持ち帰り検討」
27	水	1200 拡大執行役員会	「さらなる検討のお願い」③ 増子幹事長から福山幹事長へ	
28	木		福山幹事長「希望との統一会派は検討できず」	
29	金			
30	土			
31	日	1200 拡大執行役員会		

2018/01

01	月			
02	火			
03	水			幹事長・国対委員長会談 「協議開始で合意」
04	木		枝野代表「終わった話だ。巻き込まないでいただきたい」	
05	金	1800 拡大執行役員会	「今後の検討の形について」④ 増子幹事長から福山幹事長へ 福山幹事長「協議に応じられない」旨の返答	
06	土			
07	日			
08	月			
09	火			
10	水	1200 拡大執行役員会 1330 常任幹事会		幹事長・国対・政調会談 * 希望の党から文書提示⑤

立憲民主党代表 枝野 幸男 殿

今日、立憲主義を踏みにじり、国民から負託された国会議論をも軽視する安倍政権に徹底的に対峙し、強引な国会運営とは全面的に対決することが不可欠と考えます。そのためには、可能な限り、民進党、立憲民主党、希望の党の三党間での統一会派結成をめざし、連携していくことが必要です。以下の基本方針を共有し、国会論戦、国会対応に共同して取り組む会派を衆参両院で結成することを呼びかけます。

- 「生活者」「納税者」「消費者」「働く者」の立場に立ち、多様性を認め合う共生社会をめざす。
- 積極的に政策議論を進め、安倍政権では置き去りにされてきた地方分権や国民生活に光をあてる議員立法の成立をめざす。
- 現憲法の平和理念を尊重し、一昨年 of 安保法制の違憲部分を削り、「専守防衛に徹し、近くは現実的に、遠くは抑制的に、人道支援は積極的に」との原則に基づき、国の安全を確たるものにする議論を進める。
- 政治の信頼を取り戻し、行政監視によって税金の無駄遣いをなくすため、森友・加計学園問題をはじめとした疑惑の徹底追及を行う。
- 長時間労働の規制やパワーハラスメントの防止を進める一方で、残業代ゼロ・長時間労働を助長する政府の働き方改革関連法案については、働く者の視点から十分な審議を尽くす。

2017年12月26日
民進党代表 大塚 耕平

希望の党代表 玉木雄一郎 殿

今日、立憲主義を踏みにじり、国民から負託された国会議論をも軽視する安倍政権に徹底的に対峙し、強引な国会運営とは全面的に対決することが不可欠と考えます。そのためには、可能な限り、民進党、希望の党、立憲民主党の三党間での統一会派結成をめざし、連携していくことが必要です。以下の基本方針を共有し、国会論戦、国会対応に共同して取り組む会派を衆参両院で結成することを呼びかけます。

- 「生活者」「納税者」「消費者」「働く者」の立場に立ち、多様性を認め合う共生社会をめざす。
- 積極的に政策議論を進め、安倍政権では置き去りにされてきた地方分権や国民生活に光をあてる議員立法の成立をめざす。
- 現憲法の平和理念を尊重し、一昨年 of 安保法制の違憲部分を削り、「専守防衛に徹し、近くは現実的に、遠くは抑制的に、人道支援は積極的に」との原則に基づき、国の安全を確たるものにする議論を進める。
- 政治の信頼を取り戻し、行政監視によって税金の無駄遣いをなくすため、森友・加計学園問題をはじめとした疑惑の徹底追及を行う。
- 長時間労働の規制やパワーハラスメントの防止を進める一方で、残業代ゼロ・長時間労働を助長する政府の働き方改革関連法案については、働く者の視点から十分な審議を尽くす。

2017年12月26日
民進党代表 大塚 耕平

2017年12月27日

立憲民主党代表
枝野 幸男 様

民進党代表
大塚 耕平

さらなるご検討のお願い

過日お示し頂いた貴党の綱領について、民進党として共鳴できるものと考えます。

また、国民生活を置き去りにする安倍政権の傲慢な政治に終止符を打つべきとの国民・有権者の皆様の願いを受けて、3党が統一会派を結成し、安倍政権に結束して対決していくことは、国民の大きな期待に応えるものであると考えます。

民進党は、3党が国会で力合わせをしていくために必要な道筋を見いだすための努力を今後も重ねてまいります。国民・有権者の皆様のために誠心・誠意、力を尽くす所存でありますので、貴党におかれましても、野党第一党として、より大きな力を結束・結集していくための歩みについて、引き続きご検討、ご尽力いただきますようお願い致します。



2018年1月5日

立憲民主党幹事長
福山 哲郎 様

今後の検討の形について

民進党幹事長
増子 輝彦

民進党は、国民生活を置き去りにする安倍政権の傲慢な政治に終止符を打つべきとの国民・有権者の皆様の願いを受けて、3党が結束し、安倍政権と対決していくことは、国民の大きな期待に応えるものであると考えます。

3党が国会で力合わせをしていくために必要な道筋を見いだすための努力として、今後は立憲民主党と民進党、また希望の党と民進党の形で協議を重ねたいと存じますので、ご検討、ご尽力くださいますようお願い致します。

統一会派を組むにあたっては、以下の諸点について合意することを前提とする。

(基本理念)

- 寛容でオープンな政治姿勢を堅持し、他者を排除する主張にはくみしない。
「生活者」「納税者」「消費者」「働く者」の立場に立ち、多様性を認め合い、お互いに支えあう社会の実現を目指す。

(基本政策)

- 立憲主義に基づき、現行憲法の国民主権・平和主義・基本的人権の尊重という三原則を、より担保する観点からの憲法改正議論を進める。
- 人口減少問題をはじめ、我が国が直面する課題に正面から取り組むとともに、再分配機能の強化などにより「中間層」の再生を進める。
- 北朝鮮情勢をはじめとする我が国を取り巻く厳しい安全保障環境に適切に対応できるよう、「専守防衛」を堅持しつつ、「近くは現実的に、遠くは抑制的に」を軸とする現実的な外交安全保障政策を推進する。以上の観点から、現行の安全保障法制については、必要な見直しの議論を行う。
- 情報公開の徹底、行政監視能力の強化などの行政改革に取り組むとともに、これまでのしがらみに囚われず、未来を先取りする改革を大胆に進めていく。

(政権との関係)

- 我が国民主主義の健全な発展に向けて、政権交代可能な政治体制の構築に全力を挙げる。
- 安倍政権と厳しく対峙し、数を背景とした強引な国会運営には断固反対する。

(通常国会への対応)

- 焦点となる働き方改革について、「働く者」の立場に立ち、過労死を根絶できるような真の働き方改革につながる法改正の実現をめざす。
- 森友・加計問題にとどまらず、行政の私物化や補助金等の不正受給などの問題について徹底的に追及する。

(会派運営)

- 会派内に多様な意見が存在することを是とし、議員間で活発かつ丁寧な議論を行い、会派として結論を出す手続きを明確に定める。この手続きを経て得た結論については、全員が一致した行動をとる。

以上